

## プログラムの特長

- ✓ 救命救急と周産期（産科～小児科）を強化した3年間のプログラムです。
- ✓ 3年間を通して、家庭医診療所での外来診療を担当できます。
- ✓ 入院対応から在宅までカバーする緩和医療研修を経験できます。
- ✓ カリキュラムは、本年度から認定が始まったVer.2に準拠しています。

## 頼もしい家庭医へ、 青森で

日本を代表するへき地でもある青森県では、現場での医療ニーズ解決が求められており、いわば家庭医が最も活躍できる土地柄です。当院では、これまで物足りなかった指導体制を整備し、地元医師会の協力も得て、2012年度より本格的に家庭医の育成を開始しました。

当プログラムでは2013年度よりレジデント1名が研修に励んでいます。少しずつですが、院外からもお問合せを頂くようになりました。このリーフレットで当プログラムに魅力を感じていただけましたら、ぜひご一報ください！いつでも歓迎いたします。この青森の地で、どんなフィールドにも怯まない頼もしさを身につけた家庭医を目指しましょう。

プログラム責任者  
八戸市立市民病院・総合診療科

千葉 大



## まずは見学ツアーにどうぞ！

8月以降、興味ある方からの見学ツアーを受付けています。在籍中のレジデントが木曜日に診療所で外来を行っていますので、木曜日から金曜日にかけて見学されるのが便利と思います。お時間があれば、土曜日に協力医療機関の見学と周辺観光も可能です。詳細は、Facebookもしくは病院ウェブサイトまでお問合せください。

## 八戸という環境



三陸復興国立公園  
種差海岸

- ✓ 新幹線で仙台・東京まで良好なアクセス「八重洲口から3時間」
- ✓ 海、山、河、湖すべてが身近なロケーション、リフレッシュや育児に最適
- ✓ 雪は降っても積もらない、太平洋岸式気候（※スタッドレスタイヤは必須）
- ✓ 地方中核都市から農村へき地まで、バリエーション豊富な診療環境

青森県東部家庭医療後期研修プログラム  
[運営主体：八戸市立市民病院]

 八戸市立市民病院  
Hachinohe City Hospital

〒031-8555 青森県八戸市大字田向字毘沙門平1番地  
TEL 0178-72-5111 (大代表) FAX 0178-72-5115 (管理課)  
[www.hospital.hachinohe.aomori.jp/](http://www.hospital.hachinohe.aomori.jp/)  
f 860famdoc



# レジデント Invitation to Residency 募集案内

頼もしい家庭医になろう

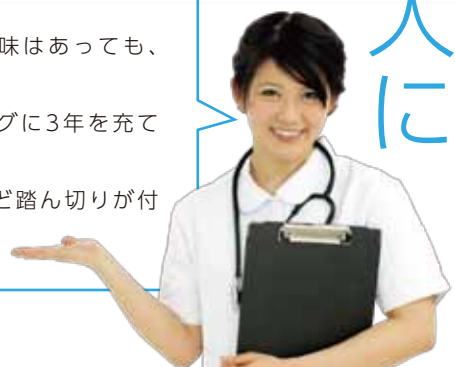


 八戸市立市民病院  
Hachinohe City Hospital

青森県東部家庭医療後期研修プログラム  
[運営主体：八戸市立市民病院]

お薦め  
こんな  
人に

- ✓ 青森で本当の家庭医療を学び、専門医を取得したい方
- ✓ 「救命救急に強い家庭医」に魅力を感じる方
- ✓ 山間へき地や離島での診療を考えながら不安が強い方
- ✓ 新しいプログラムで思い通りの経験を積みたい方
- ✓ 救急や総合診療に興味はあっても、確信が持てない方
- ✓ 開業前のトレーニングに3年を充てられる方
- ✓ 何かやってみみたいけど踏み切りが付かない、という方





# カリキュラム概要

Ver.2準拠

総合診療・総合内科・救命	+	診療所1デイバック	計15ヶ月
周産期(産婦人科)	+	小児	診療所1デイバック (6+3)ヶ月
診療所ブロック研修	+	市民病院1デイバック	6ヶ月
総合診療・緩和医療	+	診療所1デイバック	6ヶ月

4年目には、当院所属のまま専門医試験受験に臨めます。



## 総合内科・総合診療・救命

総合内科・総合診療・救命救急は、いずれも救命救急センター所属で研修します。  
 八戸救命は、ドクターヘリやドクターカーによる病院前診療に始まり、ER、ICU、一般病棟やリハビリを経て退院するまで、一貫体制での診療を重視しています。また、内因性・外傷を問わずあらゆる傷病に幅広く対応する救急総合診療を実践しています。  
 こうした体制で多くの症例を経験することで、急性期の総合診療や救命救急に自信がもてるでしょう。  
**千葉大** ちばひろし

総合内科	総合診療
------	------

## 小児

八戸市立市民病院の小児科は、入院対応可能な一般小児科として高いアクティビティを保っています。また6床あるNICUでは周産期センターと連携して未熟児の診療に当たっています。ここで家庭医レジデントは、小児のcommon diseaseを経験し、また新生児への基本的な対応を習得することができます。



## 八戸市立市民病院小児科

八戸市立市民病院小児科は市内に数少ない高次医療機関として、主に急性疾患の入院対応や慢性疾患児の外来診療を行っています。特殊な病態よりは一般的な疾病に対応する割合が高く、一般小児科として幅広い経験を積むことができます。  
**鈴木 豊** すずき ゆたか

## 周産期

八戸市立市民病院は南部地域でも数少ない分娩施設であり、院内助産も含め年間1000件の分娩があります。2013年現在、周産期センターを増床して地域の基幹病院として期待を集めています。家庭医レジデントは、この周産期センターで妊婦健診や正常・異常分娩を数多く経験して自信を深め、産科救急や未熟児への対応にも関わることができます。



## 八戸市立市民病院産婦人科

当院は地域の周産期基幹病院として、院内助産を含めて年間1,000件を超える分娩を引き受けています。後期研修の6ヶ月間では、低リスク分娩に対応できるほどの経験も可能ですし、助産師とともに妊婦健診や両親学級などにも関わられます。  
**今井 紀昭** いまいのりあき

救命	小児	周産期
----	----	-----



産婦人科と小児科で毎週行っている周産期合同カンファレンス

## 総合診療・緩和医療

緩和医療や老人医療は、総合診療そのものと言えるほど密接な関係があり、今後の医療現場で必要とされる場面は増える一方です。八戸市立市民病院には緩和医療専門医が在籍し、専門外来・入院管理・在宅往診と幅広く診療しています。家庭医レジデントは、様々なセッティングで緩和医療および総合診療についての理解を深め、経験を積むことができます。



## 八戸市立市民病院緩和医療科

「最期の一週間が、遺族の未来に影響する」緩和医療はこの時期を大事にします。良い看取りには判断力やスキルに加え、多職種で連携する体制が必須です。「緩和医療は再生の医療」苦痛を緩和して諦めかけた人生を取り戻し、家族とともに人生のまどめができるように、緩和ケアチームと一緒に力を尽くし、家庭医療の総決算として緩和医療を学びましょう。「終わりよければすべてよし」  
**佐藤 智** さとう さとる

診療所ブロック研修	総合診療・緩和医療
-----------	-----------



## 診療所1デイバック

### 八戸救命はこんなところ

- ✓ 「劇的救命」を合言葉に、20名もの救急医が在籍する救急業界の梁山泊。
- ✓ 病棟はチームでバックアップする複数主治医制で、夜間休日も完全当番制なので、災害を除けば自宅待機やオンコールなし、オン・オフは明確です。
- ✓ 体調不良はもちろん、結婚記念日や授業参観日でも引け目を感じることなく休める雰囲気なので、子育て中の医師でも活躍できます。
- ✓ ALSO/BLSO, T&A, JATEC, JPTEC, PTLs など多彩なOJTを院内開催しています。
- ✓ 出張旅費+参加費用は年間28万円まで支給します(東京往復約3万円)。



### はちのへファミリークリニック

当院では小児の診療から生活習慣病、高齢者の在宅医療まで幅広くバランスのとれた診療内容を経験することができます。頼もしい家庭医をめざして、救急・産科などの研修とともに総合的な“家庭医力”を培う研修を提供しています。

**小倉 和也** おぐら かずなり



### 六ヶ所村尾駁(おぶち)診療所

当診療所は人口1万強の村に2つある医療機関の1つで、  
 ●詳細な解剖と時間分析に基づく問診、検査に頼らない診断  
 ●入院や在宅から学校医、産業医、予防活動まで全ての医療保険活動など、八戸市内の近接・緊密な家庭医療とは対照的な経験ができます。全職員が臨床教育の重要性を理解し実践していることも特色です。

**船越 樹** ふなこし しげき



### 十和田湖診療所

家庭医療専門医としてへき地診療所で勤務しています。多種多様な問題が持ち込まれる地域の診療所だからこそEBMの実践を心掛けています。本気で楽しいといえるような診療を行えることを目標として日々研鑽しています。

**米田 博輝** まいた ひろき

## 市民病院1デイバック

## 診療所1デイバック

### 診療所ブロック研修

当プログラムは1~2年目に家庭医診療所でのワンデイバックを通して継続外来の経験を積みますが、やはり一定期間の集中的な暴露も重要です。3年目に設定されたブロック研修によって、蓄積された経験や知識を再確認したり磨きをかけて統合できます。もちろん、在宅診療の経験も数多く積むことになるでしょう。逆に、この期間は週1日の病院勤務を設定していますので、急性期医療の感覚を忘れずに済みます。



CFMD藤沼先生をお迎えして行ったレジデントデイ

### 【診療所研修】ブロック研修6ヶ月+1デイバック2.5年

- ✓ クリニックの指導医は、これまで国内の有名家庭医教育機関で指導経験あり
- ✓ 希望があれば、へき地診療所(十和田湖畔、六ヶ所村)での診療も可能
- ✓ 毎月の振り返りを始め、近隣のプログラムとの教育企画も豊富に企画中